

水害時等の車内被災の防止に関する今後の課題・取組案

水害時等において、自動車で冠水した道路を運行した場合、エンジン等が停止して移動できなくなることや、車外の水圧により内側からドアを開けることが困難となること等の危険があることから、国土交通省においては、自動車ユーザーの皆様に対する注意喚起を重ねて行ってきたところです。

しかしながら、令和元年の台風 19 号等による大雨では、自動車が水没する等により運転者や同乗者が亡くなる事故が相次ぎました。また、令和2年7月豪雨においても、車内での被災がありました。このため、今回の注意喚起に加えて、今後以下の対策を講じることとします。

(1)車からの脱出方法及び脱出用ハンマーの搭載拡大の更なる周知・啓発

- 関係省庁や自治体と連携し、自動車ユーザーとのあらゆる接点を捉えた更なる周知・啓発
- 幅広い年齢層の自動車ユーザーを念頭に、動画や SNS 等の電子媒体からポスター・チラシ等の紙媒体に至るまで、様々な媒体を活用した累次にわたる周知・啓発

(2) 脱出用ハンマーの性能確保と粗悪品排除の取組み

- 脱出用ハンマーの市場性能調査・結果公表(年度内予定)
- 脱出ハンマーに関する JIS 規格(自動車用緊急脱出支援具・JISD5716)へ適合した製品の普及(経産省との協力)